

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		旧東京音楽学校奏楽堂管理運営					所管	文化産業観光部 文化振興課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	138	計画事業名	文化施設の活用		事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現 [施策] 31 誰もが文化に親しむ環境づくり					[事業開始] 昭和62年度 [終了予定] - 年度		
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕		東京都台東区立旧東京音楽学校奏楽堂条例、同施行規則				
	事業対象	直接の対象 : 区民をはじめ、広く一般 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	日本最初の木造洋式音楽ホールで、国の重要文化財である奏楽堂を「生きた文化財」として保存活用することにより、芸術文化の向上に寄与するとともに、区民文化の振興を図る。							
	事業内容 [H30年度]	奏楽堂に関する資料の展示公開と施設全体を公開した。また、公演計画の審査や自主事業の指導助言を行う奏楽堂企画委員会を開催するとともに、重要文化財としての施設の維持管理、ホール及びパイプオルガン等の貸出し等を行った。							
	委託の有無	全部委託(指定管理)	委託内容		(公財)台東区芸術文化財団を指定管理者とし、管理運営を委託している。				
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度		
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	開館日数	日	308	-	-	126	125	100.8%
		ホール利用可能日数	日	192	-	-	88	-	-
	成果指標	施設一般公開入館者数	人	21,000	-	-	16,651	7,000	237.9%
		ホール利用件数	件	185	-	-	35	-	-
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度
					16,126		16,546		32,521
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)					1,248		2,469
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)					16,126		32,522
		その他のコスト(扶助費・補助費など)					0		0
		総経費					17,374		34,991
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)					0		6,214
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)					0		0		
一般財源(区負担額)					17,374		28,777		
課題及び今後の進め方	重要文化財である施設や修復を終えた貴重なパイプオルガン等を適切に保存し、後世へ継承するとともに、「生きた文化財」として公開・活用するため、今後とも適切に維持管理していく。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	東京藝術大学から区に寄贈後、国の重要文化財に指定された奏楽堂は、日本最初の木造洋式音楽ホールであり、区民をはじめ多くの方々に対する芸術文化振興に必要なとされる施設であるため、今後も引き続き、区が奏楽堂を適切に保存活用していく必要がある。						
	効率性	3	重要文化財である施設の適切な維持管理等に努めるとともに、施設や展示資料の一般公開やホール貸出等においても、最小限の経費で効率的な運営を行っている。						
	手段の適切性	3	指定管理者としての専門性を活かしながら、重要文化財である施設の維持管理、来館者への一般公開、ホール等の貸出などについて適切に行っている。						
	目的達成度	4	リニューアルオープン後も目標数を大幅に上回る一般公開入館者を集めながら、平成31年1月からのホール貸出開始にも適切に対応するなど、安定的に施設の管理運営を行った。						
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
重要文化財である施設の適切な維持管理等に努めるとともに、平成30年11月のリニューアルオープン以降、多くの一般公開入館者を集めながら、平成31年1月からのホール貸出開始にも適切に対応するなど、安定的に施設の管理運営を行った。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了	